

公的資金補償金免除繰上償還の執行状況について（H22延長承認計画）

国は地方財政の現状に配慮し、市町村合併や行財政改革に取り組んでいる地方公共団体等を対象に、金利5%以上の公的資金（旧資金運用部資金等）の補償金なしによる繰上償還を、平成19年度から21年度までの臨時特例措置として認めておりましたが、平成22年度から24年度においても、同様の措置を延長しておりました。

企業局におきましては、函館市行財政改革新5か年計画（平成20～24年度）を進めてきたところであり、更なる事務事業の見直し等による人件費の削減やアウトソーシングの活用等を進め、建設投資の抑制を図ることを基本として、平成22年12月に繰上償還が認められ、水道事業会計および公共下水道事業会計において、平成23年度には、約2億1,400万円、平成24年度には、約11億1,200万円の繰上償還を実施し、この間の効果額の合計は、利率の減少により、当初予定と比較し約4,400万円増加したものであります。

(1) 繰上償還額および効果額

○ 水道事業会計

(単位：件、千円)

区分	当初予定額(A)			実績額(B)			差額(B-A)		
	件数	繰上償還額	効果額	件数	繰上償還額	効果額	件数	繰上償還額	効果額
23年度	機構	3	213,519	34,959	3	213,519	44,962		10,003
	計	3	213,519	34,959	3	213,519	44,962		10,003
24年度	財務省	13	851,681	122,809	13	851,681	160,226		37,417
	機構	3	83,852	5,876	3	83,852	8,154		2,278
	計	16	935,533	128,685	16	935,533	168,380		39,695
合計	財務省	13	851,681	122,809	13	851,681	160,226		37,417
	機構	6	297,371	40,835	6	297,371	53,116		12,281
	計	19	1,149,052	163,644	19	1,149,052	213,342		49,698

○ 公共下水道事業会計

(単位：件、千円)

区分	当初予定額(A)			実績額(B)			差額(B-A)		
	件数	繰上償還額	効果額	件数	繰上償還額	効果額	件数	繰上償還額	効果額
24年度	簡保	1	262,920	54,276	1	176,386	48,593	△86,534	△5,683
	計	1	262,920	54,276	1	176,386	48,593	△86,534	△5,683
合計	簡保	1	262,920	54,276	1	176,386	48,593	△86,534	△5,683
	計	1	262,920	54,276	1	176,386	48,593	△86,534	△5,683

※1 機構・・・「地方公共団体金融機構」を表す。

※2 23年度・・・機構5.5%以上6%未満の資金が対象。

24年度・・・財務省5%以上6%未満、機構5%以上5.5%未満、簡保5%以上6%未満の資金が対象。

※3 平成24年度の簡保資金については、繰上償還時に減額調整（△86,534千円）されたことによる。

※4 効果額は、償還終了する平成33年度までの合計額を表す。

(2) 水道事業会計の経営状況の見通し

(単位：百万円)

区 分	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度
収益的収入(税抜き)	4,435	(4,326) 4,465	(4,240) 4,430	(4,159) 4,441	(4,112) 4,394	(4,069) 4,424
収益的支出(税抜き)	4,409	(4,437) 4,336	(4,440) 4,268	(4,399) 4,152	(4,409) 4,095	(4,447) 4,186
純 損 益	26	(△111) 129	(△200) 162	(△240) 289	(△297) 299	(△378) 238
繰越利益剰余金	71	(△41) 198	(△241) 354	(△481) 643	(△778) 942	(△1,156) 1,180
資 本 的 収 入	1,272	(1,024) 957	(1,366) 1,126	(2,371) 2,089	(1,781) 1,276	(1,679) 1,640
資 本 的 支 出	2,691	(2,212) 2,155	(2,958) 2,690	(3,909) 3,605	(3,354) 2,858	(3,173) 3,315
差 引	△ 1,419	(△1,188) △ 1,198	(△1,592) △ 1,564	(△1,538) △ 1,516	(△1,573) △ 1,582	(△1,494) △ 1,675
当年度財源過不足額	△ 8	(87) 311	(△378) 4	(△342) 193	(△387) 168	(△372) △ 65
累積財源過不足額	1,571	(1,658) 1,882	(1,280) 1,886	(938) 2,079	(551) 2,247	(179) 2,182
企業債現在高	20,159	(19,612) 19,524	(19,772) 18,867	(18,998) 18,510	(19,169) 18,107	(19,368) 18,308

(3) 公共下水道事業会計の経営状況の見通し

(単位：百万円)

区 分	21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度決算	25年度決算	26年度
収益的収入(税抜き)	6,026	(5,953) 6,024	(5,873) 5,915	(5,745) 5,782	(5,696) 5,669	(5,704) 5,675
収益的支出(税抜き)	5,655	(5,495) 5,422	(5,498) 5,368	(5,371) 5,111	(5,302) 4,989	(5,312) 5,227
純 損 益	371	(458) 602	(375) 547	(374) 671	(394) 680	(392) 448
繰越利益剰余金	848	(1,182) 1,031	(1,258) 1,155	(1,148) 1,463	(1,130) 2,143	(1,095) 2,177
資 本 的 収 入	4,081	(3,416) 3,029	(2,869) 2,839	(3,856) 3,519	(3,741) 3,382	(2,782) 2,803
資 本 的 支 出	6,255	(5,816) 5,381	(5,293) 5,249	(6,231) 5,837	(6,135) 5,720	(5,225) 5,232
差 引	△ 2,174	(△2,400) △ 2,352	(△2,424) △ 2,410	(△2,375) △ 2,318	(△2,394) △ 2,338	(△2,443) △ 2,429
当年度財源過不足額	166	(63) 239	(△108) 84	(△37) 314	(△34) 268	(△92) 126
累積財源過不足額	832	(895) 1,071	(787) 1,155	(750) 1,469	(716) 1,737	(624) 1,863
企業債現在高	66,889	(65,768) 65,529	(64,288) 63,975	(63,173) 62,636	(61,950) 61,334	(60,157) 59,528

※ 上段（）内は当初予定額